

領域		日付	時間	区分	記録	担当
来づくりにつながる学習や活動の機会】		02-02-13	10:13	学習活動	パソコンソフト (ワープロ・表計算等) について、分からないことを助言する。	常盤 健二
【③社会の情報や教養などを学ぶ機会】		02-02-13	10:13	学習活動	パソコンソフト (ワープロ・表計算等) について、分からないことを助言する。	常盤 健二
【④資格取得のための学習機会】		02-02-13	10:13	学習活動	パソコンソフト (ワープロ・表計算等) について、分からないことを助言する。	常盤 健二
7. 危機管理						
【利用者の希望や思い】				特記事項		
【本人の状況とその環境】				特記事項		
8. 地域生活等への移行						
【利用者の希望や思い】				特記事項	施設でこのままずっと生活したい。在宅生活はどのように成っているのか知りたい。	
【本人の状況とその環境】				特記事項	従来の生活について、具体的に思いがあるわけではないが、特に、デイサービス利用者の生活に関心をもたれているようだ。しかし、自分とは別世界といった捉え方も感じられる。可能、可能に能に関わらず様々な情報提供が必要である。	
【①更正施設への期待】		02-02-22	12:22	自立生活	グループ外出で映画に行かれる事を、カズガ一に書いて欲しいと言われる。引き出しの点検でセナが残り少ないため看護婦に分包してもらって行く。カズガ一に書いて欲しいと言われる。	常盤 明美
【②授産施設への期待】		02-02-22	12:22	自立生活	グループ外出で映画に行かれる事を、カズガ一に書いて欲しいと言われる。引き出しの点検でセナが残り少ないため看護婦に分包してもらって行く。カズガ一に書いて欲しいと言われる。	常盤 明美
【③他の施設への期待】		02-02-22	12:22	自立生活	グループ外出で映画に行かれる事を、カズガ一に書いて欲しいと言われる。引き出しの点検でセナが残り少ないため看護婦に分包してもらって行く。カズガ一に書いて欲しいと言われる。	常盤 明美
【④地域生活への移行の希望】		02-02-22	12:22	自立生活	グループ外出で映画に行かれる事を、カズガ一に書いて欲しいと言われる。引き出しの点検でセナが残り少ないため看護婦に分包してもらって行く。カズガ一に書いて欲しいと言われる。	常盤 明美
領域VI 社会参加、余暇活動						
1. 地域社会の一員として						
【利用者の希望や思い】				特記事項	外出を増やして、様々な機会に参加し挑戦してみたい。市内に映画館がオープンされたので、自由に観にいきたい。出来れば、個人ボランティアを活用したい。	
【本人の状況とその環境】				特記事項	援助者があれば施設外行事にも充分参加できる。映画館を利用できるよ情報提供が必要で。周囲の利用者が個人ボランティアと外出しておられるのをただみただみでおられ、行動へと移されようとする意欲が見られない。ボランティア活用によって「外出」の機会の拡大は可能です。	
2. おしやれ						
【利用者の希望や思い】				特記事項		
【本人の状況とその環境】				特記事項		
3. 旅行						

領域	日付	時間	区分	記録	担当
【利用者の希望や思い】			特記事項	もっと外出したい。また、「旅行」もしたいが「褥瘡」が出来るので無理だろう。	
【本人の状況とその環境】			特記事項	「旅行」については、具体的な意欲とは言えず、ただ「夢」として捉えておられるので、情報提供を図ることが必要です。	
4. 作業や余暇の過ごし方			特記事項	パソコンの練習をしたい。	
【利用者の希望や思い】			特記事項	最近、時間がある時はいつもパソコンに向かっている。パソコン関係の本・雑誌の読書も促していきたい。	
5. 仲間との活動			特記事項		
【利用者の希望や思い】			特記事項		
【本人の状況とその環境】			特記事項		
【①利用者自治会での活動機会】	02-02-16	11:16	自治会	平成14年度の誕生会についての話し合い、防災食・食事についての話をする。	常盤 健二
【①利用者自治会での活動機会】	02-02-13	11:13	自治会	平成14年度の自治会からの誕生会記念品についての話し合いを行う。	常盤 健二
【①利用者自治会での活動機会】	02-02-10	09:10	自治会	リバーシ&将棋大会のたでの話し合いを行う。昨年自分がオセロ大会で三位になり、貰ったものを見本として出されるなど、積極的に話に加わっておられた。	常盤 智正
【①利用者自治会での活動機会】	02-02-09	10:09	自治会	自治会・会計として、リバーシ・将棋大会の上位者への記念品及び、熱帯魚水槽（フィルタリー買い替え）について、話し合いを行い、判断を仰ぐ。	常盤 健二
【②利用者相互の自発的な活動機会】	02-02-16	11:16	自治会	平成14年度の誕生会についての話し合い、防災食・食事についての話をする。	常盤 健二
【②利用者相互の自発的な活動機会】	02-02-13	11:13	自治会	平成14年度の自治会からの誕生会記念品についての話し合いを行う。	常盤 健二
【②利用者相互の自発的な活動機会】	02-02-10	09:10	自治会	リバーシ&将棋大会のたでの話し合いを行う。昨年自分がオセロ大会で三位になり、貰ったものを見本として出されるなど、積極的に話に加わっておられた。	常盤 智正
【②利用者相互の自発的な活動機会】	02-02-09	10:09	自治会	自治会・会計として、リバーシ・将棋大会の上位者への記念品及び、熱帯魚水槽（フィルタリー買い替え）について、話し合いを行い、判断を仰ぐ。	常盤 健二
領域Ⅶ 家族とのつながり					
1. 家族との交流					
【利用者の希望や思い】			特記事項	母親は高齢で病弱なので心配である。介護の負担をかけたくない。帰らず施設にいた方が入浴もできるし、食事も美味しい。必要なことは母親より兄弟に頼みたい。	
【本人の状況とその環境】			特記事項	宿泊でなくとも1日の帰省でも実母でも実母でも定期的に働きかけていきたい。兄弟、母親がどのよそのためにも、単発の外出も見逃さず継続していくことを促していきたい。兄弟、母親がどのよように往来され、交流しているか把握するために、施設の情報を提供していきたい。	

領域	日付	時間	区分	記録	担当
2. 家族への理解と対応					
【利用者の希望や思い】			特記事項		
【本人の状況とその環境】			特記事項		
関係職員等に求めたい情報					
【利用者の希望や思い】			特記事項		
【本人の状況とその環境】			特記事項		

調査日：
担当者氏名：

総合的な支援の方針
<p>1. 施設サービスへの不満の解消。 2. より多くの情報を提供し、その中から自分に必要な情報を選択し、生活に活かしていただく。 3. ボランティア等との関係づくり。 <input type="checkbox"/> 個人ボランティア確保のための支援。 <input type="checkbox"/> 家族への働きかけ。 <input type="checkbox"/> デイサービス利用者との交流。 4. 健康相談、栄養指導、機能訓練。 <input type="checkbox"/> 本人が健康に対する不安を和らげ、自己管理できるような機会づくり。 <input type="checkbox"/> 本人の苦手な料理、食材については食べやすいように工夫、実施する。 <input type="checkbox"/> 頸椎や肩の痛みを和らげ、機能の維持と強化に努める。 <input type="checkbox"/> 天井リフトを自己操作し、移乗、移動、排泄等が自立できるように訓練に努める。</p>

利用者氏名： 常盤 幸二

施設利用への利用者の意向
<p>1. 施設サービスへの不満 <input type="checkbox"/> 嗜好に沿った献立をもっと増やして欲しい。 2. より多くの情報を知り、自分の可能性を最大限に引き出し、生活の場面を積極的に拡大したい。 <input type="checkbox"/> いろいろな外出機会を持ちたい。 <input type="checkbox"/> 長時間の車椅子乗車をしたい。 <input type="checkbox"/> ボランティアの活用の方がわからない。 <input type="checkbox"/> パソコン操作上達したい。 <input type="checkbox"/> 両上肢がもつと自分の思うように動きいろいろなことをしてみたい。 <input type="checkbox"/> 汗物を自分で飲みたい。 <input type="checkbox"/> 天井リフトを自己操作し、移乗、移動、排泄等の自立がしたい。 <input type="checkbox"/> インターネットをしたい。 <input type="checkbox"/> 在宅生活がどのようなになっているのか知りたい。 3. 自分の体調や疾病への理解を深め同時に援助も必要に応じて求めていきたい。 <input type="checkbox"/> 健康に対する不安の解消をしたい。 <input type="checkbox"/> 頸椎や肩の周囲の痛みを和らげたい。</p>

背景要因	支援目標			支援内容			評価
	長期目標(期間)	短期目標(期間)	援助内容	担当職種	いつ	どこで	
生活全般の解決すべき課題(ニーズ)							
利用者の立場に立った行動が欠けていた。栄養・医療講座とおしえて食生活と健康管理の学習効果の現れと考える。	自分で健康管理ができ、毎日楽しく、美味しく食べてもらうようにする。(12ヶ月)	嫌いな料理、食材について食べられるように工夫、実施する。(6ヶ月)	調理内容、食事変更、嗜好献立を増やすため、選択メニューの品数、回数を増やす。	管理栄養士	随時	献立作成	ほぼ満たしている。(嗜好献立が増えた)
情報提供が不足していた。教養講座、他の利用者のボランティア利用が刺激となっていた。	個人ボランティアを利用して自田外出。(12ヶ月)	家族の協力のもと外出機会を拡大。(6ヶ月)	自由外出が安心安全にできるように情報提供をし家族にも働きかけをする。	生活支援員	随時(家族に対しては面会時)	居室、その他	ショートステイとの関わりをもち外出意欲がでてきている。
個人のボランティア利用が刺激となっている。	電動式リクライニング車椅子購入により、朝・昼・夕食を食卓でする。(12ヶ月)	電動車購入をすすめる。(6ヶ月)	車椅子乗車時間を延長する。(現在より30分の延長から始める)	ケアワーカー	昼食後	施設内	体調を考慮しつつ取り組んでいるが今一歩である。
パソコンの魅力を障害をカバーしてくくれる特性を掴んだようである。情報提供が不足していた。	個人ボランティアを活用した積極的な活動を図るためのボランティアとの関係づくり。(12ヶ月)	人と人との関わり合いの提供とボランティア活用についての学習。(6ヶ月)	施設におけるボランティア利用のマニュアルを学習会等を通じて伝え、ボランティアとつながる方を紹介し、関係が築かれるよう援助。	生活支援員	実習受け入れ時	居室(居室訪問を行う)	援助機会を捉え、社会性を身につけつつある。
自分の体力と必要性を理解するようになった。機能に関する情報提供が不足していた。	個人的な目的と自治会活動等に取り入れる。(12ヶ月)	操作のマスタリー。(6ヶ月)	操作に関する情報提供と操作に関する学習。	生活支援員	生涯学習(IT講座)への受講	カルチャールーム	意欲を持ちパソコンと向き合っている。
現状依存の姿勢から、自分にチャレンジする気持ちが出てきた。情報提供が不足していた。	現在行っている生活動作が継続して行えるよう、又、動作の拡大が図れるようにする。(12ヶ月)	筋肉の維持強化を図る。(6ヶ月)	毎日、徒手抵抗にて肩甲帯上肢の筋の筋力増強訓練を行う。	理学療法士	午前中	機能訓練コーナー	基本動作の取り組み訓練を実施している。
健康管理に対する情報提供が不足していた。無関心のように見えるが性格的には神経質である。	自力摂取。(12ヶ月)	一部介助で練習。(6ヶ月)	ふた付き容器を用意する。	ケアワーカー	食事時	食堂ホール	自力服用できる容器を購入し、一部はできるようにしている。
	精神的に弱くそれが体調不良に現れるので、本人が不安に思わない安定した生活への援助を行うにあたり、自分の健康に関する関心をもち、自分から意識表現ができるようにする。(12ヶ月)	職員から情報や話し合う機会をつくり、体調の確認、自分の意志の表現を行うよう確認を行う。(6ヶ月)	検査後の情報提供や受診時などの機会をとおして話し合い場面づくりと職員から話し掛けて関わりを持つことにより本人の意志の確立を行う。	ケアワーカー 看護婦	随時	居室、その他	本人の希望に基づいて対応している。
	種小範囲の治りきらない褥瘡があるため、生活が制限されているが、車椅子の検討(クッション含む)を行い生活の拡大を図る。(12ヶ月)	毎日褥瘡の確認を行い、傷ができていない場合は、インジゲン消毒薬による処置と体転、褥瘡予防用のマットを使用し、体圧分散を図る。(6ヶ月)	悪化防止に努めるとともに褥瘡の原因と治療に食事が大いに関わっていることを理解してもらい、自立、自己管理を促す。	管理栄養士 看護婦 生活支援員 理学療法士	随時	居室	

他者依存から自分の問題として捉えるようになった。	頸椎や肩の周囲の痛みを和らげたい。	頸部や肩周囲の筋肉に必要以上の緊張が生じないような車椅子やクッションの検討。(12ヶ月)	筋肉の柔軟性をつけ筋肉のコリを緩解する。(6ヶ月)	毎日、徒手抵抗にて肩甲帯上肢の筋力増強訓練を行う。頸部肩甲骨の筋肉のストレッチを行う上肢の関節の可動範囲拡大。	理学療法士	午前中	機能訓練コーナー		職員と家族との関わりが十分である。
長男としての責任と負い目が感じられる。	家族との関係強化	兄弟の協力体制を確立なものにする。(12ヶ月)	職員と兄弟家族との関係づくり(6ヶ月)	兄弟家族への働きかけ、また、本人に対しては兄弟に対して自分が対等になれる働きかけを共に考える。	ケアワーカー 生活支援員	面会時	居室、その他		
現状依存の姿勢から、自分にチャレンジする気持ちが出てきた。	天井リフトを自己操作し、移乗、移動、排せ等の自立がしたい。	個室での自立生活。(12ヶ月)	天井リフトの自立操作。(6ヶ月)	職員と一緒に移動リフト操作の訓練を行う。	ケアワーカー 作業療法士 理学療法士	移乗時	居室		リフトの自立操作訓練に至っていない状況です。(学習段階)
	在宅生活がどのようなか知りたい。	自立生活への取り組み。(12ヶ月)	在宅生活の情報提供。(6ヶ月)	デイサービス利用者で自立生活されている人との交流促進。	ケアワーカー 生活支援員	デイサービス利用者の利用日	デイサービスセンター		ショートステイ・デイサービス利用者との関わりが拡大されつつある。

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	課題(ニーズ)についての現状	具体化されなかった理由もしくは解決法
<p>施設でこのままずっと生活したい。母親は高齢で病弱なので心配である。介護の負担をかけたくない。帰らず施設にいた方が入浴もできるし、食事も美味しい。</p>	<p>母親への気づかいが強く見られる。2年前には、短期間ではあるが、兄弟夫婦の協力のもとで、帰郷が叶い、本人も「よかった、遅くまで母親と話した」とあまり表情には出さないが話した。本意としては、帰郷を望んでいると感ずる。</p>	<p>実際に母親一人の介護は不可能、宿泊できなくても1日の帰省も実現できるよう長期的に働きつづけていきたい。そのためには単発の外出を継続していくこと。</p>

厚生科学研究費補助金・障害保健福祉総合研究事業

「療護施設における電子情報を用いた個別支援のあり方に関する基礎研究」

(平成13年度 総括・分担研究報告書)

☆

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会

TEL. 03-3581-6502 / FAX.03-3581-2428